富山赤十字病院

第126号

地域医療連携だより

えん

発行日：令和６年10月　発行所：**富山赤十字病院**　富山市牛島本町２丁目１番58　TEL. 433−2492　発行責任者：時光　善温

ロボット（ダビンチ Xi）支援下手術導入

副院長兼第１外科部長兼歯科口腔外科部長　芝原　一繁

2024年３月より準備をはじめ、ついに９月27日に当院に手術支援ロボットダビンチXiが納入されました。当日は朝７時から搬入が開始され、私も嫁を迎えるかのような気持ち？で立ち会いました。そしていよいよ６番手術室でセッティングが開始されました。今後はスタッフのトレーニング、症例選択、シミュレーション等、綿密な準備をすすめ、11月下旬に初症例を予定しています。これまで準備委員会の立ち上げから、関係業者との交渉、定期的なスタッフミーティング、手術室や中央材料室等の工事を経てようやくここまでたどりつけました。これもすべて、関係スタッフが一丸となって高い意識を持ち続けて準備してこられたおかげだと思っています。

従来の内視鏡外科手術の欠点を克服すべく、内視鏡手術支援ロボット（da Vinci Surgical System）が開発されました。2018年の診療報酬改定で新たに消化器外科領域では胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術、腹腔鏡下胃悪性腫瘍手術、直腸切除、切断術が保険収載され、多くの施設で導入がすすみ、症例数も増加しています。ダビンチXiの導入により術者は遠隔操作で精細な3D画像を見ながら、その多関節機能により手ぶれのない精緻な手術が可能となります。そのため低侵襲で臓器機能が温存され、出血量の減少等、合併症の発生を低下させ、さらに疼痛軽減により術後の回復が早まることが期待されます。また術者にとっては、座ったまま手術ができることで体力的な負担が減り、長時間の手術でも疲労が少ないとされています。

ロボット支援下手術といった新しい技術の導入には安全管理の徹底が重要です。この手術が持続可能なものとなり、最新の高度な医療を提供し、地域の中で当院に対する信頼がますます高まっていくためには、最新の技術や手法を学び続ける姿勢が求められます。定期的なトレーニングや学会、研究会参加を通じて知識と技術をアップデートすることが重要です。そして常にこの手術の実施状況（手術成績、合併症の発生率等）を厳しくモニタリングし、必要に応じてフィードバックを行い、安全性と有効性を継続的に確保していくことが求められます。大切なのはこれからです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ダビンチXi
左から、ビジョンカート、サージョンコンソール、ペイシェントカート

第88回地域医療連携の会

令和６年10月２日(水)午後７時より、ANAクラウンプラザホテル富山において「第88回 地域医療連携の会」を開催いたしました。開業医の先生方54名、当院医師・看護師等61名、総勢115名の参加がありました。富山県厚生部 有賀部長、富山県医師会 村上会長、富山市医師会 舟坂会長、富山県看護協会 岡本会長より来賓のご挨拶を賜りました。金沢大学 医薬保健研究域・医学系 腎臓・リウマチ膠原病内科学 岩田恭宜教授をお迎えし、「慢性腎臓病の克服を目指して」と題しご講演をいただきました。引き続き行われた懇親会では、芝原副院長より、「ダビンチ支援下手術導入について」ご紹介させていただきました。臨床研修医 枡谷医師によるピアノ演奏と共に、地域の先生方と楽しいひと時を過ごす事ができ、地域医療連携の輪もより一層広がったように思います。今後とも地域の先生方との連携を図り、地域医療の推進に努めていきたいと思います。

来賓挨拶

富山県厚生部
部長　有賀玲子先生

富山県医師会
会長　村上美也子先生

富山市医師会
会長　舟坂雅春先生

富山県看護協会
会長　岡本里美様

懇親会　乾杯挨拶

よしだ医院
院長　吉田誠先生

ピアノ演奏

臨床研修医　枡谷優斗

富山赤十字病院
院長
平岩善雄

富山赤十字病院
患者支援センター長
時光善温

懇親会の様子

慢性腎臓病の克服を目指して

令和６年10月２日、第88回富山赤十字病院地域医療連携の会が開催され金沢大学 医薬保健研究域・医学系 腎臓・リウマチ膠原病内科学教授 岩田恭宜先生が「慢性腎臓病の克服を目指して」というタイトルでご講演をされました。その内容を簡単に紹介いたします。

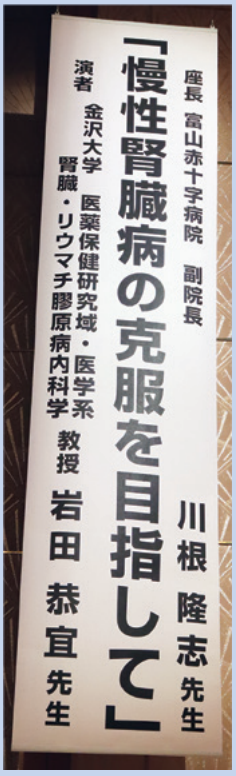
金沢大学 医薬保健研究域・医学系 腎臓・リウマチ膠原病内科学教授　岩田　恭宜 先生

まず初めに慢性腎臓病と環境因子についてお話をされました。近年、我が国の夏は異常高温が続いていますが、高気温への暴露は慢性腎臓病（CKD）の腎機能低下を増悪させるというデータを示されました。さらに高気温は腎機能の低下のみならず心血管死を増加させるという衝撃的なものでした。食習慣とCKDとの関連については、金沢市の40歳以上の健診受診者において、遅い夕食と朝食の欠食が蛋白尿の出現と関連するという興味深いデータでした。運動においてはその負荷が、小さい大きいにかかわらず時間依存的にCKDの発症リスクを軽減することを示されました。

次にCKDの治療について、SGLT2阻害薬 GLP-1受動態作動薬について新たな知見を交えて説明されました。

最後に岩田先生の研究の一端として紹介された慢性疾患における腸管環境の意義についての話は大変興味深いものでした。D-アミノ酸が腎虚血を改善し将来CKD治療に応用できるかもしれないという夢のある話でした。D-アミノ酸は発酵食品に多く含まれていて酒粕を用いた臨床研究が既に始まっているようで、その結果が楽しみです。

座長　富山赤十字病院 副院長兼
腎臓・リウマチ・感染症内科部長兼
眼科部長　川根　隆志



これまでCKDの治療は血圧管理と食事療法くらいしかなかったのですが、新しいエビデンスのある薬が使われるようになり生活習慣（食事時間、運動）や環境の影響を修正することで、その進展を抑制できる時代が来るかもしれません。さらに全く違った発想からの薬が開発されるかもしれません。2000万人のCKD患者さんの未来に光を当てる有意義な講演であったと思います。

文責　腎臓・リウマチ・感染症内科部長　川根隆志

口腔外科専門医・指導医とは

歯科口腔外科部副部長　石戸　克尚

現在日本では○○科専門医、というのが非常に多くあります。学会の認定だけだったり、国に認可されたものだったり、たくさんありすぎて判断に迷うくらいになっているかと思います。歯科・口腔外科領域にも専門医はたくさんあります。歯科・口腔外科で国から認可され、広告可能な専門医は６種類で、口腔外科、小児歯科、歯科麻酔、歯周病、歯科放射線、補綴歯科のみであります。それぞれ、経験年数や治療・診断実績、専門試験を通して認定される仕組みです。

その中で口腔外科専門医は、経験や治療実績に加え、試験官が実際に病院を訪れ、手術の診査を行って評価する、実地診査が行われています。そのため比較的取得までのハードルが高いと言われています。指導医となると、専門医取得後にさらに難易度の高い手術の実績、再度の実地診査をクリアして認定されることになります。

このような背景から、北陸地方では口腔外科専門医・指導医の数が少ないことが言われています。富山県では歯科医師数が約630名とされていますが、その中で口腔外科専門医は26名、指導医は11名のみです。そのうち、現在総合病院などで専門的な口腔外科治療に従事しているのは専門医は11名、指導医は７名のみです。指導医は富山大学附属病院、富山県立中央病院、厚生連高岡病院、北陸中央病院、そして富山赤十字病院の５施設のみにしか在籍していません。つまり当院は県内でも少ない、高度な口腔外科医療を提供できる施設、といってよいかと思います。指導医というのは、偉そうに若手医師やスタッフを指導する医師でもなく、ましてや患者さんを指導する人間でもないと思っています。指導医は、安全・安心な高度な口腔外科医療を提供するとともに、若手医師、スタッフを含めてどのメンバーが行ってもハイレベルな良質な治療を行えるように管理・指導を行う立場であると考えます。また、北陸地方では数が少ない、口腔外科専門医・指導医を絶やさないように育成し、繋いでいく役割を担っていると考えます。今後も患者さん一人一人を大切にし、スタッフ一丸となってよりよい治療を行えるように努力したいと思います。

歯科外来写真
後列左から、泉田歯科衛生士、水本歯科衛生士、井林歯科衛生士、本田歯科衛生士、見角クラーク
前列左から、歯科口腔外科 松下医師、歯科口腔外科部副部長 石戸医師

産後ケアを開始しました

7階西病棟　看護師長　辻口　てるみ

当院では９月17日より富山市の指定産科医療機関として産後ケアの受付を開始しました。

産後ケアとは、こども家庭庁が令和６年度末までに支援を必要とするすべての方が利用できるように全国展開を目指している事業です。出産後の母親と赤ちゃんを対象に、心身のケアや育児や授乳をサポートして産後に安心して子育てができるように支援します。

当院では、富山市内に住所を有する生後１歳未満の母親と赤ちゃんを対象にした、デイケア型(10時から16時まで)とショートステイ型(14時から翌日13時まで)の２つの利用方法があります。場所は７階西病棟の産科用の個室で行います。内容は授乳の仕方を助産師と一緒に考えたり、乳房マッサージを受けたりすることができます。また、核家族等で母親の支援者が少ない時に、疲れた体をほんの少し休めることができます。父親や祖父母がおむつ交換や沐浴の仕方を学びに来ていただくことも可能です(デイケアのみ)。栄養士から離乳食の相談も受けられます(要予約)。昼食は育児中の多忙な母親がゆっくりと食事をして、おいしく味わっていただける食事を準備いたしました。

里帰り分娩の方もご利用できます。ご両親のもとへ里帰りされていてもご両親がお仕事されている方も多く、頼りにくいとお考えの方もいらっしゃいます。そのような方も是非ご利用いただければと思います。

育児は一人で抱え込まず、いろいろな方々に支えられながら、無理なく行っていくことができると心が軽くなるかもしれません。ぜひ当院の産後ケアをご利用ください。利用申込みは、富山市の産後ケア利用申請後、当院ホームページから申込みください。

11月、12月の外来診療に関する医師不在日案内

11月

科　名	医師名	不在日
歯科口腔外科	石戸　克尚	5日(火)、22日(金)
眼科	辻屋　壮介	19日(火)
小児科	足立　雄一	11日(月)
	津幡　眞一	7日(木)
脳神経外科	桑山　直也	20日(水)、22日(金)
外科	竹原　　朗	15日(金)、29日(金)
内科	品川　和子	1日(金)
	若林　祐介	15日(金)
	湊山　周平	25日(月)
泌尿器科	外島　和樹	21日(木)、22日(金)

12月

科　名	医師名	不在日
脳神経外科	桑山　直也	4日(水)、6日(金)
小児科	足立　雄一	20日(金)
	津幡　眞一	13日(金)、19日(木)、25日(水)
外科	竹原　　朗	12日(木)
内科	黒川　敏郎	2日(月)
	品川　和子	20日(金)
	宮　　侑佑	25日(水)

※不在日には、代診を立てております。

新任医師の紹介

どうぞよろしく
お願いいたします。

呼吸器外科部副部長
川向　　純

脳神経外科医師
古賀悠一郎

患者支援センターからのお知らせ

「第89回地域医療連携の会」

令和７年１月29日(水)に開催を予定しております。

※詳細は後日お知らせいたします。みなさまの参加をお待ちしております。

編集後記

木々の葉が色づき、晴れやかな秋空が広がる季節となってきました。

娘が生まれてから、よく童謡など子供の歌を聴いたり、一緒に手遊びして歌ったりしています。子供の頃の記憶が蘇り、懐かしさを感じたり、ユーモアのある歌詞にクスッとしたり、優しく応援してくれるような歌も多く、元気と癒しをもらっています。また子供の頃は歌詞の意味を理解せずに楽しいリズムと音で覚えていた曲も、実は少し切なさや、かなしさを含んでいたり、生きている喜びを歌っていたり、今聴いて気づく事も多いです。さらに季節の歌も多いので、今まで通り過ぎていた季節をより深く感じられたりします。今は秋の歌を口ずさみ、最近少しずつ歩けるようになってきた我が子と、小さい秋をみつけながらお散歩などしたいと思っています。

朝晩の寒暖差が大きくなってまいりますので、お身体にお気をつけてお過ごし下さい。

(患者支援センター　社会福祉士　堂ヶ崎　紗矢)

紹介依頼など、下記までお問い合わせください。

富山赤十字病院
患者支援センター

TEL：076-433-2492　FAX：076-433-2493
e-mail：byousinrenkei@toyama-med.jrc.or.jp
夜間・休日のお問い合わせは…TEL：076-433-2222(代表)
Fax：076-433-2410(夜間・休日のみ)